

【教育科学編】

- 論文 筆者想定法による古典文学の学習
—『枕草子』『春はあけぼの』を例に— …………… 武久康高 (1)
- 論文 小学校での学びにつながる幼児の姿と生活科の授業の工夫
…………… 玉瀬友美・池本浩子・中山美香・廣瀬 愛・植田 優・都築郁子・大西美玲・岡林律子 (11)
- 論文 保育ドキュメンテーションに見られる子どもの姿 …………… 玉瀬友美・中山美香・岡谷里香・川端美穂 (21)
- 論文 コロナ禍における大学生による地域子育て支援活動に関する学び
—リモート模擬保育を通して— …………… 玉瀬友美・三ツ石行宏・川俣美砂子・竹内日登美 (29)
- 論文 小・中・高の系統性に配慮した小学校音楽科プログラミング教育題材及び教材の開発
…………… 永野玖実・道法浩孝 (37)
- 論文 高知県A町立B中学校における学校教育目標に対する教員理解の現状と目標共有方策の検討
—学校の組織化に着目して— …………… 能勢朋典・柳林信彦 (45)
- 論文 学校教育目標共有のための方策とその試行
—高知県A町立B中学校の事例に着目して— …………… 能勢朋典・柳林信彦 (55)
- 論文 ドイツ基礎学校「事実教授」におけるインクルーシブ教育 …………… 藤田詠司 (67)
- 論文 空間生成としての省察
—歴史の授業の事例— …………… 古市直樹 (75)
- 論文 知的障害特別支援学校児童生徒の社会生活スキル習得年齢への教育課程変更の影響
…………… 山田葉月・高橋由子・田中諒平・二宮 啓・森 眞司・宇川浩之 (105)
濱村 毅・土居真一郎・本間希久恵・山崎敏秀・寺田信一
- 論文 高等学校における探究型読書の授業開発
—ATDに基づく探究ツール「Q&Aチャート」の効果の質的分析— …………… 山中貴博・袴田綾斗 (111)
- 論文 実践的指導力の省察と教育実習調書の作成 …………… 横山 卓 (121)

【人文・社会科学編】

- 論文 高知県の文化振興に資する彫刻作品の実践研究
—井上ワイナリーのいち醸造所をフィールドとして— …………… 阿部鉄太郎 (127)
- 論文 少子高齢化が到来した現代中国における「循環するケア」の検討
—費孝通(1910-2005)の提唱した「フィード・バック型」ケアを主軸として— …………… 磯部 香 (133)
- 論文 中学校の英語科に注目した授業のユニバーサルデザインの実践
—授業参加促進と学力向上に注目して— …………… 岡部将也・是永かな子・田村康忠・多良静也 (141)
- 論文 スウェーデンにおける特別ニーズ教育
—ボロース基礎自治体SlättängskolanとKilskolanの取り組みに注目して— …… 是永かな子・石田祥代 (153)
- 論文 フィンランドにおける義務教育後の特別支援
—Live, Arbisなどの就労支援や不適応対応を中心に— …………… 是永かな子・石田祥代 (163)
- 論文 フィンランドにおける病弱特別学校
—ヘルシンキ市Zacharias Topelius学校およびSophie Mannerheimin学校の取り組みに注目して—
…………… 是永かな子・石田祥代 (171)
- 論文 1970年代・竹中労による沖縄音楽レコード・ディスコグラフィ
—「琉球フェスティバル」ライブ録音を中心に— …………… 高橋美樹 (179)
- 論文 男性の生活の豊かさに向けた“無意識の思い込み”の研究
—ジェンダー平等社会の構築に向けて— …………… 森田美佐 (227)
-
- 論文 音楽と感情 —現代の研究を参照した「声無哀楽論」研究のまとめ— …………… 玉木尚之 (一)

高知大学教育学部研究報告規程

(投稿資格)

1. 高知大学教育学部研究報告は、高知大学教育学部・教育学専攻教員・教職実践高度化専攻教員の論文等の発表機関誌とする。
2. 原稿を提出する者は、以下のいずれかの条件を満たすものとする。
 - (1) 教育学部・教育学専攻担当教員
 - (2) 教職実践高度化専攻担当教員
 - (3) その他、総務委員会が認めた者なお、共同執筆者は、上記以外の者を含むことができる。

(著作権等)

3. 提出された原稿等(文章・図・表・写真等を含めたすべて)(以下「論文」という。)の著作権等については以下とする。
 - (1) 提出された論文の著作権は、本学に帰属するものとする。掲載された論文、写真、図表等の原文情報を電子化等利用のために著作権法で定められた範囲を越えて利用する場合は、あらかじめ高知大学長に利用の許諾申請をしなければならない。高知大学長は、許諾申請に基づき、著作権法の遵守と著作者の権利を侵害しないと判断した場合は、「高知大学教育学部研究報告論文利用許諾書」(別紙様式2)により許諾を与えるものとする。
 - (2) 投稿に際しては、当該論文の著作権が本学に帰属することを、著者全員が同意しているものとみなす。したがって投稿者は、共著者全員に本手続きを示し、この点に関する承諾を得た上で投稿しなければならない。
 - (3) 本文の一部や図・表・写真等を他の著作物から転載する場合、著作権に係わる問題や法令上の手続きは、著者自身があらかじめ処理しておかなければならない。著作権に関わって生ずる問題の一切は、原稿の執筆者が責任を負うものとする。
 - (4) 掲載する写真等の、プライバシーにも配慮しなければならない。
 - (5) 本学は、電子的記録媒体(CD-ROM、DVD-ROM等)への変換・送信可能化・複製・学内外への配布及びインターネット等で学内外へ公開する権利(公衆送信権、自動公衆送信権等)を専有するものとする。

(原稿の提出及び受理)

4. 原稿は、完成原稿(PDF形式のカメラレディ原稿)とする。原稿は未発表のものに限る。受理後の変更、追加、加筆は原則として認めない。
5. 原稿の提出に際しては、論文・研究ノート・調査報告・翻訳・書評・随想などに区分し、投稿申込書(別紙様式1)を提出する。
6. 投稿者は以下の投稿料を負担する。
なお、投稿料は、1編につき投稿費5,000円ならびに1頁あたり500円の合計額とする。
7. 原稿に添付する図・表およびグラフを印刷所にトレース、組み直し等を依頼する場合、必要経費は執筆者が負担しなければならない。
8. 原稿の作成および投稿の詳細については、「高知大学教育学部研究報告投稿の手引き」によるものとする。
9. 原稿の締め切りは毎年11月30日とし、印刷原稿と電子媒体(使用機種名、ソフト名等を明記)とを総務委員に提出する。締め切り日は厳守する。ただし、締め切り日が土・日曜日の場合は、つぎの月曜日まで待つことができる。
10. 総務委員会は、原稿、投稿申込書を点検し、受理するものとする。

(編集)

11. 編集は、総務委員会が行う。
12. 刊行は、本学教育学部ホームページ上での電子刊行とし次の系列ごとに分類し、1年度1巻とする。なお、国会図書館への送付用、本学保管用として25部程度の各系列合冊としたA4版の冊子体の刊行も行う。なお、提出原稿が大部に及んだ場合分冊にすることがある。
 - (1) 教育科学編(教科教育を含む)
 - (2) 自然科学編
 - (3) 人文・社会科学編
13. 総務委員会は、論文等の形式・レイアウト等について、執筆者と検討することがある。
14. 冊子体の奥付の発行年月は原稿締切りの翌年の3月とする。
15. 冊子体の奥付に誌名・巻数・発行年月を記載し、発行者(高知大学教育学部)・発行者の住所(所在地)、および著作権を示す「本研究報告に掲載の論文の著作権は高知大学に帰属します。」を和文で記載する。また、投稿者の責任について、「本研究報告上で投稿者の責任において述べられた意見および事実関係の説明は、当総務委員会としての見解を示すものではありません。問題が生じたときの責任はすべて責任者(投稿者)が負うことになっています。」を和文で記載する。印刷所は、印刷社名・住所(所在地)を和文で記載する。

(契約・発注・抜刷)

16. 教育事務室は契約と発注を行うものとする。
17. 執筆者が抜刷りを希望する場合、および、校正を希望する場合、その経費は執筆者が個人研究費で負担するものとする。

昭和44年12月18日		平成16年11月10日	一部改正
昭和49年12月18日	一部改正	平成17年10月12日	一部改正
昭和62年11月25日	一部改正	平成22年6月9日	一部改正
昭和63年12月14日	一部改正	平成23年6月8日	一部改正
平成3年3月18日	一部改正	平成24年3月14日	一部改正
平成11年9月1日	一部改正	平成25年3月13日	一部改正
平成12年7月5日	一部改正	平成30年6月13日	一部改正
平成13年9月12日	一部改正	令和元年7月10日	一部改正
平成15年9月3日	一部改正	令和2年6月17日	一部改正

編集後記

『高知大学教育学部研究報告』第83号をお届けいたします。

本号は、教育科学編、人文・社会科学編により構成しております。

当研究報告の編集は総務委員会が担当しております。2013年から紀要の電子化として、高知大学教育学部HP (<http://akebono.ei.kochi-u.ac.jp/>) の教育学部研究報告サイトにも掲載しております。

今回は、前号と同様に多数の投稿となりました。本号に投稿していただいた先生方、ご協力いただいた方々に、心よりお礼申し上げます。

高知大学教育学部総務委員会

委員長 伊谷 行

副委員長 赤松 直

委員 望月 良親

加藤 誠之

宮田 信司

幸 篤武

佐竹 泰和

佐藤 弘一

福谷 遼太

本研究報告上で投稿者の責任において述べられた意見および事実関係の説明は、当委員会としての見解を示すものではありません。問題が生じた時の責任は、すべて責任者（投稿者）が負うことになっています。

2023年3月発行

高知大学教育学部研究報告 第83号

発行 高知大学教育学部

教育学部長 小島 郷子

高知市曙町二丁目5番1号

印刷所 (有) 近森 騰 写 堂

高知市本町5丁目5-18

BULLETIN OF THE FACULTY OF EDUCATION, KOCHI UNIVERSITY No.83 2023

【Educational Studies】

- Article Learning classic literature by “Hissha-Soteiho”
–Taking “Makura no soshi” “Haru wa Akebono” as an example– TAKEHISA Yasutaka (1)
- Article Collaboration between kindergartens and primary schools: Approaches in the Living Environment Studies class
..... TAMASE Yumi, IKEMOTO Hiroko, NAKAYAMA Mika, HIROSE Ai, UETA Yu, (11)
TSUDUKI Ikuko, ONISHI Mirei and OKABAYASHI Ritsuko
- Article Young children’s learning in childcare documentation: Through textual analysis
..... TAMASE Yumi, NAKAYAMA Mika, OKATANI Rika and KAWABATA Miho (21)
- Article Learning about local childcare support activities by university students during COVID-19 Pandemic:
Using the method of remote-controlled simulated childcare
..... TAMASE Yumi, MITSUISHI Yukihiko, KAWAMATA Misako and TAKEUCHI Hitomi (29)
- Article Development of programming subjects and teaching materials for elementary music education with consideration
of the systematics of elementary, junior high, and high schools NAGANO Kumi and DOHO Hirotaka (37)
- Article A Study of the Current Statues of teachers’ Understanding of School Educational Goals and Measures for Sharing
Goals in Junior High School B in Town A, Kochi Prefecture
–Focusing on school organization– NOSE Tomonori and YANAGIBAYASHI Nobuhiko (45)
- Article A Study on the Conception and Implementation of Measures for Sharing School Education Goals
–A Case Study of Junior High School B in Town A, Kochi Prefecture–
..... NOSE Tomonori and YANAGIBAYASHI Nobuhiko (55)
- Article Inclusive Education in “Sachunterricht” of primary school in the Federal Republic of Germany FUJITA Eiji (67)
- Article Reflection as Spatial Generation:
A Case Study of a History Class FURUICHI Naoki (75)
- Article Effects of Changes in the Curriculum on the Acquisition Age of Social Skills at Special Needs Schools for
Intellectual Disabilities
..... YAMADA Hazuki, TAKAHASHI Yuko, Tanaka Ryohei, Ninomiya Kei, Mori Shin-ji, Ugawa Hiroyuki, (105)
Hamamura Takeshi, Doi Shin-ichiro, Hon-ma Kikue, Yamasaki Toshihide and TERADA Shin-ichi
- Article Developing a series of lessons for Quest Reading in a High School
–A qualitative analysis of the effect of the inquiry tool “Q&A chart” from an ATD perspective–
..... YAMANAKA Takahiro and HAKAMATA Ryoto (111)
- Article Reflection on Practical Teaching Abilities and Student Teachers’ Plans for Teaching Practice
..... YOKOYAMA Takashi (121)

【The Humanities and Social Science】

- Article Practical Research on Artworks of Structures that contribute to Culture Promotion in Kochi Prefecture:
Inoue Winery Noichi Jouzoujo (Vinification) as a Base Site ABE Tetsutaro (127)
- Article Consideration on contemporary China with declining birthrate and aging population, and “cycle of care”
–Focusing on the “feed-back style” care advocated by Fei Xiàotóng (1910-2005)– ISOBE Kaori (133)
- Article Universal Design English Classes at Junior High School
–Focusing on Promoting Class Participation and Improving Academic Achievement
..... OKABE Masaya and KORENAGA Kanako, TAMURA Yasutada, TARA Shizuya (141)
- Article Special Needs Education in Sweden.
;Focusing on the Practice at Slättångskolan and Kilskolan in Borås ... KORENAGA Kanako and ISHIDA Sachiyo (153)
- Article Special Support after Compulsory Education in Finland
;Focusing on Employment Support and Maladaptive Treatment at Live and Arbis
..... KORENAGA Kanako and ISHIDA Sachiyo (163)
- Article Special Schools for Children with Sickness in Finland
;Focusing on the Practice at the Zacharias Topelius School and the Sophie Mannerheimin School in Helsinki
..... KORENAGA Kanako and ISHIDA Sachiyo (171)
- Article A Discography of Rō Takenaka’s Okinawan Musical Recordings of the 1970s:
Focusing on the Live Recording of the “Ryukyū Festival” Miki TAKAHASHI (179)
- Article A Study of “Unconscious Bias” for Men’s Life Enrichment
–Exploring How to Make a Gender Equal Society– MORITA Misa (227)
-
- Article The Relation between Music and Emotion
–The Final Study on Hsi Ka’ng’s ‘Music Has in It Neither Grief nor Joy’ Referring to Modern Researches–
..... TAMAKI Naoyuki (1)